

ぎふ技術革新プログラム推進地域

地域産業を成長産業分野へ展開するためのイノベーション人材の集積

総合調整機関

公益財団法人 岐阜県研究開発財団

〒509-0109

岐阜県各務原市テクノプラザー丁目1番地

TEL058-379-2212

参画機関（太字はプログラム実施機関）

- ・産・川崎重工業（株）、（一社）岐阜県工業会、（一社）岐阜県経済同友会、岐阜県機械金属協会
- ・学・**岐阜大学、名古屋工業大学、大同大学**、岐阜工業高等専門学校
- ・官・岐阜県
- ・金・十六銀行、大垣共立銀行



プロジェクトディレクター
山下 典男

略歴：昭和52年岐阜県入庁、平成17年岐阜県産業労働部産業政策課技術調整監、平成19年から工業系公設試の所長を歴任し、退職後平成23年から当財団副理事長就任

炭素繊維複合材料などの「機能性・軽量化部材」は、発展が期待される航空機・次世代自動車産業をはじめ、次世代産業の重要なキーワードである。そこで、「ぎふ技術革新センター」を拠点に、この分野の研究者、コーディネータを地域に集積し、産学官でプロジェクトを推進しながら、企業や関連機関などと広域的な連携を図り、地域産業の発展に貢献したいと考えている。

地域イノベーション戦略

岐阜県では、優れたモノづくり技術やノウハウを持つ地域産業を航空機・次世代自動車産業などの成長産業へ展開し、産業構造を多様化・高度化する構想を掲げている。その戦略として、地域産学官共同研究拠点「ぎふ技術革新センター」を活用し、産学官連携によるイノベーションにより成長産業への展開を促進する「ぎふ技術革新プログラム」を推進している。そこで、中核を担う研究者7名、コーディネータ4名を集積し、地域イノベーション戦略を更に加速させる。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：岐阜大学、名古屋工業大学、大同大学）

航空機・次世代自動車産業の生産技術分野における産学官共同研究を実施する研究者を集積する。当該地域に研究成果の展開・実用化のための研究者を招へいし、ぎふ技術革新センターを活用した産学官共同研究により「ぎふ技術革新プログラム」を推進し、地域の技術力向上を図る。特に、航空機・次世代自動車産業の生産技術分野において、今後ますます必要とされるCFRP（炭素繊維複合材料）などの「機能性・軽量強化部材」について、重要視される成形加工技術及び機能性材料開発を中心に研究者を集積する。



| 所 属 | 氏 名 | 分 野 | 研 究 内 容 |
|---------------------------------------|------------------------|------|--|
| 岐阜大学 特任教授 岐阜大学 特任准教授 岐阜大学 特任准教授 | 深川 仁 大谷 章夫 魚住 忠司 | 複合材料 | 航空機部品への適用、特性評価 短繊維中間材料、ハイサイクル成形 組物構造部材、高品位せん断加工法 |
| 岐阜大学 特任教授 大同大学 教授 | 土屋 能成 五十川 幸宏 | 金属材料 | 金型トライボロジー特性、摩擦摺動面評価 高強度金属材料、加工シミュレーション |
| 名古屋工業大学 特任准教授 名古屋工業大学 特任助教 | 塚本 英明 服部 将朋 | 機能材料 | 傾斜機能材料化によるエネルギー吸収 新セラミックスコーティング技術 |

2. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：（公財）岐阜県研究開発財団）

航空機・次世代自動車分野を主な対象分野とし、産学官連携を推進する4名のコーディネータを配置する。そのうち、統括を含む2名のコーディネータを産学官連携の拠点である「ぎふ技術革新センター」に配置し連携を強化する。また、東海地域広域で活動する広域化コーディネータにより連携を広域的に展開する。

企業ニーズの把握、シーズとのマッチングを通じ、事業成果を見据えた質の高い共同研究プロジェクトの企画推進、研究成果の技術移転、航空機分野への新規参入促進支援等を実施し、「ぎふ技術革新プログラム」を推進する。

| 所 属 | 氏 名 | 担 当 |
|-------------|-------|--------------|
| 統括コーディネータ | 伊牟田 守 | ぎふ技術革新センター駐在 |
| 広域化コーディネータ | 鈴木 広志 | |
| 科学技術コーディネータ | 棚瀬 昭二 | ぎふ技術革新センター駐在 |
| 科学技術コーディネータ | 三輪 實 | |